



広報

秋田

ごじょうめ

平成3年(1991年)

12月1日

No. 673

(毎月1日・15日発行)

発行/秋田県五城目町



11月11日、富津内小学校にて

主な内容

- 中津又地区コミュニティセンター竣工 … 2・3
- 町政座談会 ……………… 4
- 老人保健のお知らせ ……………… 8
- 五城目人物山脈 ……………… 11

アンドレア先生の英会話教室

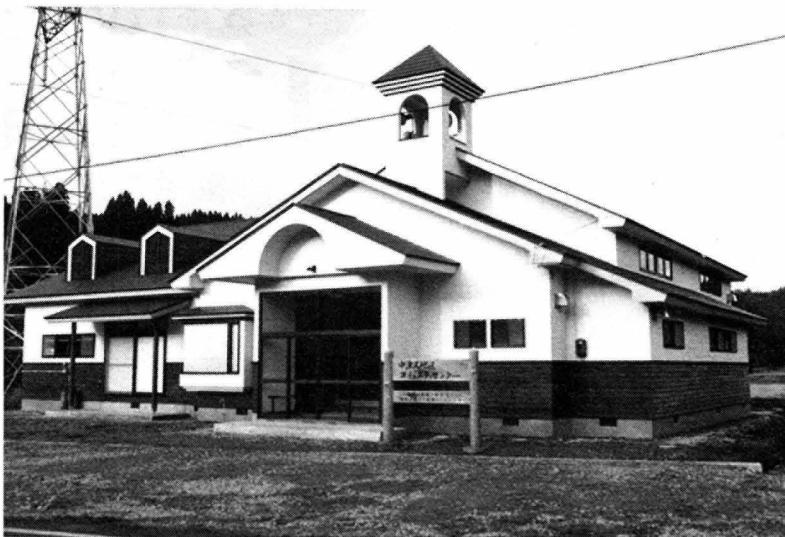
アナタノ オナマエハ?
マイ ネーム イズ……

中津又地区

「コミュニティーセンター」

が完成

関係者など 120人が出席し祝う



完成した中津又地区コミュニティーセンター



伊藤会長や佐藤町長らがテープカット

中津又地区コミュニティーセンターの竣工式は、十一月二十四日午後一時三十分から、五城目町長、町議会議員、県議会議員、地元の代表者や関係者など、百二十人が出席して完成を祝いました。

最初にテープカットが行われ、引き続き竣工式に移り、中津又地区自治会・伊藤武昭副会長が経過を報告。感謝状贈呈の後、伊藤重孝会長が「皆様のご努力により完成したこのセンターが、地域各層の方方に広く活用され、文化・教育の向上と、社会福祉の増進に大いに貢献するものと信じております」と式辞を述べました。

また、お祝いに駆け付けた佐藤町長、小玉議會議長、伊藤県議らが祝辞を述べられたほか、祝電と寄贈品の披露が行われました。

記念撮影後に行われた祝賀会では、伊藤要ショーヨーを楽しみながら、中津又地区コミュニティー推進の拠点となる素晴らしい同施設の完成を祝い合ってきました。

また、次の方々に感謝状が贈呈されました。（敬称略）

▼用地提供者
伊藤敬利（落合）

▼工事関係者
・（株）沢田石建設
　代表取締役 沢田石誠一
・（有）高千建設
　代表取締役 小林勉

自治宝くじ
助成事業

富津内中津又地区のコミュニティーセンター建設に、自治宝くじ助成事業が役立っています。

自治宝くじ助成事業は、宝くじ受託事業を行っている「財団法人自治総合センター」が、コミュニティーアクションの発展に努める一方、宝くじの普及広報事業としてコミュニティーオーガニゼーションなどへ助成しているものです。

平成三年度は、富津内中津又地区のコミュニティーセンター建設事業に助成がありました。同センターは、地区住民の集会・学習・文化活動など、広範囲にわたるコミュニティーアクションの拠点施設として大いに活用が期待されます。

富津内落合地内に建設が進められていた「中津又地区コミュニティーセンター」が完成し、十一月二十四日竣工式が行われました。

このセンターは、中津又地区自治会（会長・伊藤重孝）が事業主体となり、総額三千六百五十七万六千円で建設が進められました。

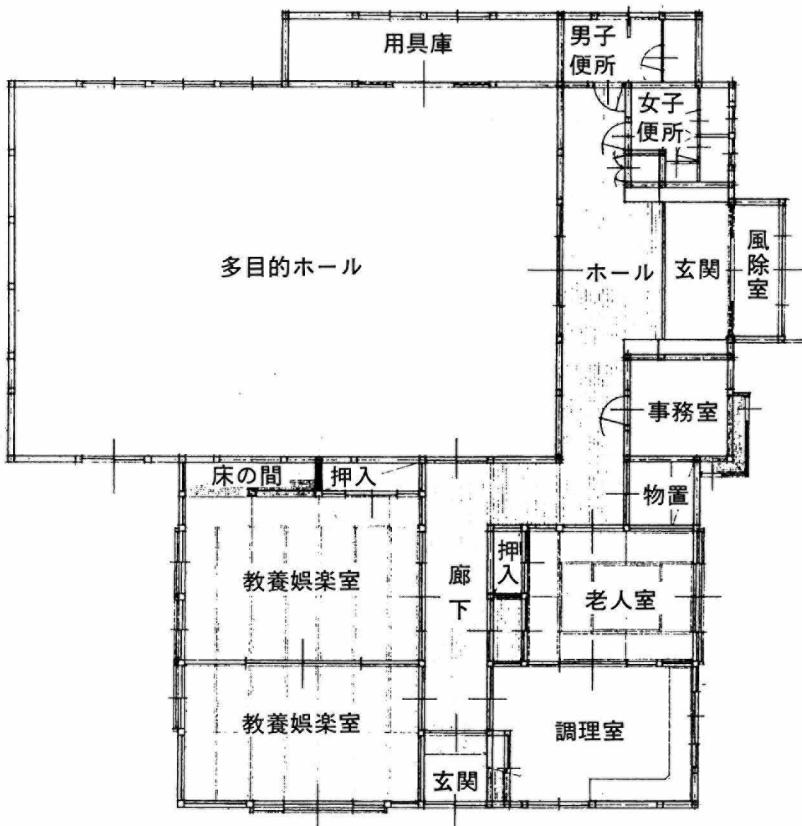
木造平屋建で、延床面積は三百四十・三四平方メートル（百

三坪）。大集会や軽スポーツのできる多目的ホール、教養娯楽室（和室）、老人室（和室）、調理室、事務室などが設けられています。

また、一日三回（朝、昼、夕）「ウエストミンスターのかねの音（ね）」「野ばら」「ふるさと」の曲が流れ、地域の皆さんに時が告げられます。そして、この放送設備は、緊急の場合やその他いろいろの連絡にも使用することができます。



厳粛に行われた竣工式



老人室



教養娯楽室



調理室



施設の概要

- ・名 称 中津又地区コミュニティーセンター
- ・所 在 地 五城目町富津内中津又字小栗山22-3
- ・事 業 名 コミュニティーセンター助成事業
(宝くじ助成)
- ・着 工 平成3年6月15日
- ・完 成 平成3年11月15日
- ・事 業 主 体 中津又地区自治会(会長・伊藤重孝)
- ・敷地面積 1,051 m² (318坪)
- ・建物延床面積 340.34 m² (103坪)
- ・事 業 費 総額 36,576,391円

町長の主な予定 (12月)

- 12月1日 / 町功労者石井良司様誕生祝(黒土) / もちつき会(内川保育園)
- 12月2日 / 秋田阿仁短絡線道路建設推進期成同盟会(アキタパークホテル)
- 12月3日 / 浅見内町内会町政座談会(浅見内公民館) / 長寿祝(久保・一関金八様) / 長寿祝(平民センター)
- 12月4日 / 危険物取扱者実施研修会(市民センター)
- 12月6日 / 庁議(役場) / 石崎町内会町政座談会(石崎公民館) / 交通指導(消防署)
- 12月8日 / 地域道路行政懇談会(ガーデン松竹) / 安東誠様祝賀会(ガーバー)
- 12月9日 / 地域幹部会議
- 12月10日 / 長寿祝(畠中・デン松竹)
- 12月13日 / 庁議(役場) / 設置町交流会総会(東京)
- 12月14日 / 日輝会美術館
- 12月15日 / 町功労者沢田石広治様誕生祝(湯ノ又) / 町功労者(故)北嶋諒一様三回忌
- 12月20日 / 庁議(役場) / 長寿祝(築地町・佐藤フチエ様) / 長寿祝(西野・小玉マツノ様)
- 12月24日 / 長寿祝(湯ノ又・松橋ステ様)
- 12月26日 / 年越行事(森山荘)
- 12月27日 / 部課長会議(役場)
- 12月28日 / 仕事納め式(役場)
- 12月30日 / 長寿祝(森地) / 佐々木永太郎様

婦人国内研修に参加して

五城目町若妻会連絡協議会
門間 郁子

十月一十九日、「国際交流フォーラム」が埼玉県嵐山町にある国立婦人教育会館にて開催され、その会議に我が町から六人の一人として参加する機会に恵まれました。

「開発と女性」というテーマで、文字通りの国際交流フォーラム。国際色豊かで、知識が豊富なパネリストたちが集まつての講義は、私にとって初めての経験で、イヤホンを片耳につけての同時通訳

は、まさしく前代未聞の聽講でした。
現在、日本は物質的、経済的にも恵まれ過ぎ、外国の貧しい様子など知らなさ過ぎる事が多々ある事を知り、発展途上国の現状を探る手がかりとして必死にメモを取りました。

会場には東京近郊から集まつた女性が主で、外国からの男性の顔も見られ、「開発と女性」というテーマの質の高



国立婦人教育会館・研修棟前にて

- 研修先
埼玉県比企郡嵐山町
（国立婦人教育会館）
- 日程
十月二十八日～三十一日
- 参加者
伊藤クニ（五城目町婦人会連絡協議会）
小熊ミワ子（大川婦人会）
八柳千代（大川婦人会）
石井三千代（生涯学習奨励員）
門間郁子（五城目町若妻会連絡協議会）

さに、視野の狭い私にとってあらためてびっくりさせられました。

東南アジアの女性の文盲率

が高く、貧困が増加し、女性の地位向上が遅れています。

（薪や水運び、家畜の世話、牛の乳絞り、魚の餌・飼料運び、子供や老人の世話、家庭内の雑用等に費やす）が長く、

そのために開発における女性のプログラムやプロジェクトが策定されたのだそうです。

様々な分野からの調査や実践活動を通しての講義は、実際に私自身関与していませんが、発展途上国の女性の姿にふれた事に対し、今回のテーマは大きな勉強になりました。

仕事のかたわら若妻会活動に取り組んでおりますが、今は幸運に恵まれ、今後は活動に新たな気持ちで頑張っていきたいと思っています。

平成三年度の全県花だんコンクールの表彰式が、十一月十九日、県生涯学習センターにおいて行われました。
本町からは十六の団体が入賞しました。また各種団体の部で優秀賞を獲得した浅見内老人クラブ親睦会は、三十一年間にわたり花いっぱい運動に積極的に参加し、平成元年度には同コンクール特別優秀賞に輝いたほか、草刈りや清掃活動にも参加するなど明るい町づくりに大きく貢献された功績が認められ、花いっぱい運動推進功労団体として表彰されました。

今回も花だんを作られたことに敬意を表します」との報告がありました。
（本町関係分）

浅見内老人クラブ親睦会など 16団体が入賞

平成3年度
全県花だん
コンクール
入賞団体

（本町関係分）



各種団体の部・優秀賞に輝いた
浅見内老人クラブ親睦会の花だん

- ▽ 勉力賞
谷地中老人クラブ
（各種団体の部）
- ▽ 勉力賞
浅見内老人クラブ親睦会
- ▽ 勉力賞
富田老人クラブ千寿会
湯ノ又いろり会
- ▽ 勉力賞
八田・長面老人クラブ
湯ノ又第一老人クラブ
上桶口老人クラブ寿会
（職場の部）
- ▽ 勉力賞
五城目幼稚園
（子供会の部）
- ▽ 勉力賞
富田子ども育成会

餅つきや奉仕作業に汗

— 内川小学校学校参観 —



ほんとうに おいしいよ~

内川小学校の学校参観が、十一月十日行われました。当時は約四十人の父兄が学校を訪れ子どもたちの授業を参観。この後、恒例の行事となっている餅つき会と奉仕作業が行われました。餅つき会では、学校田で取れたもち米・六十キロを使用。また、奉仕作業では学校の周りの木の雪吊りやスキーカー場、相撲場などの整備が行われ、大人も子どもも一緒になりながら餅つきや作業に汗を流していました。

昼食には、つきたての餅が出され、きな粉もちやつゆ・こもちをおなかいっぱい食べていました。

団員や父兄250人で大運動会

— ボーイスカウト第30団 —



なごやかな雰囲気で行われた大運動会

ボーイスカウト第三十団（隊長、川辺末吉さん）の大運動会が、十一月三日、馬川地区公民館グラウンドを会場に、団員や父兄など二百五十人が参加して行われました。

この大運動会は、子どもと父兄が一体となり、触れ合いを深めようと毎年行われているもので、始めてから十数年になります。

当日は、久しぶりの晴天となり、二十数種目に及ぶ競技に熱戦が繰り広げられ、中でも綱引きでは、孫の応援におばあさんが飛び出すなど、グラウンドからは一日中、大きな歓声が沸いた楽しい大会となりました。

おじいさん・おばあさん ありがとう

— 五城目保育園で孫親参観 —



みんな一緒に楽しいお遊戯

孫の保育園生活をおじいさん、おばあさんたちから観てもらおうと、十一月十四日、五城目保育園で孫親参観が行われました。おじいさんやおばあさんは、自分の孫のいるクラスに入り、一緒にモール（花かざり）を作つて胸に飾つてもらつたり、歌を唱つたり、ゲームや紙芝居を楽しんでいました。また、「おじいさん、おばあさん、あたりがとう」の言葉に、ニコニコ顔で孫を抱き上げる光景も見られました。

この後、町社会福祉協議会常任理事・加藤正松さんの講演が行われ、皆さんは熱心に耳を傾けていました。

祖父母らと伝承遊び楽しむ

— 馬場目小学校で触れ合い学習 —



女の子も弓づくりに挑戦

第四回「触れ合い学習」（ふるさと遊び）が、十一月十四日、馬場目小学校体育館を開催されました。この催しは、子どもたちに郷土の伝承遊びを体験してもらい、併せて地域文化の見直しと郷土に生きる自覚を持つてもらおうと、馬場目小学校の年間行事として、地区公民館などの協力を得て開催されているもの。会場では、こままわしやあやとりなどの伝承遊び、竹馬や弓、きかんじゅう、わらぞうりなどの工作が行われ、子どもたちは、応援に駆け付けた祖父母らと一緒にになって、伝承遊びや工作を楽しんでいました。

